

める。予算と決算が、かけ離れているのではないかと。大きな事業は市単独ではできない。

職員が財政のことを考えられる職務状態を確保すべきではないか。

(3) 今後、入札をどう改善していく考えか。

答弁(財政課長)

(1) 県から「他団体と比べ(予算と決算が)近い」という言葉もあった。こういった努力もしている。

極力決算見込みに近づけるよう研究し、大きな隔たりがないよう努めていきたい。

答弁(市長)

(2) (仮称)第2桜小学校【「関連記事10面」の建設で、約6億1千万円の(国)補助金等が得られる(見込みである)。

今後も財政に強い担当者を多く育てていきたい。

答弁(副市長)

(3) 他自治体を研究しつつ、一般競争入札の対象工事を拡大していく方向で検討していきたい。

質疑(安井議員)

(1) 今後10年間で職員の3分の1、116人が退職する事態が発生する。これを好機と捉え、定数抑制、削減に努めるとあるが、何人まで削減すれば適正だと考えているか。

(2) 保育所も本庁職員も、これ以上の削減は限界ではないか。

(3) 保育所は、正規保育士87人と、105人の臨時保育士で行われている。

(必要配置保育士数が増える)3歳未満児の入所が急増している中で、臨時保育士を募集しても見つかりにくい状況が続いている。

正規保育士を確保すべきではないか。

(4) 職員の健康管理について、メンタル等の病気で休んでいる職員は何人か。

答弁(総務課長)

(1) 357人が上限である。

(2) 職員OB等を(再任用制度で)活用していきたい。

(3) 一般職は4.2%減だが、保育士は保育の状況を勘案

し、増やしている。

(4) 病気休暇等を取っている職員は、4人である。

討論

賛成討論(三宮議員)

22年度予算の執行を見ると、中学校卒業までの子どもの医療費無料制度や、15年間にわたる保育料の据え置きなど優れた子育て支援施策、遅れていた全小中学校の耐震改修工事の完了など、評価できる施策改善が進められ、賛成する。

採決

全員賛成で可決

市税条例一部改正

株式配当等に関する所得を軽減する期間を延長するなど、地方税法等の一部改正に伴い、関連する市税条例を改正するものです。

討論

反対討論(三宮議員)

庶民はただ同然の預貯金利息にさえ20%課税されている中で、株の売却益等が

わずか10%課税の不公平税制は許せるものではなく、政権への抗議の意味も込めて、反対する。

採決

賛成起立14人で同意

反対3人(三宮・安井・杉浦)

固定資産 評価審査委員

任期満了に伴う選任に、同意を求めるものです。

飯田氏は再任、細江氏は岡田幹雄氏の任期満了に伴う新任です。

質疑

質疑(佐藤博議員)

細江さんは市商工会長であると同時に、市商工政治連盟会長でもあり、政治活動もしている。

むしろそれぞれの方向で全力投球してもらおうべきではないか。

答弁(市長)

商工会の定めに兼任禁止は記されておらず、何ら問題がないと思う。

細江さんは、民間企業から発する問題に対応してもらうことに、適任だと思っている。

採決

飯田哲夫 氏

(63歳・松名)

全員賛成で同意

細江利夫 氏

(65歳・平島町)

賛成起立16人で同意

反対1人(佐藤博)

教育委員

小出隆通氏の任期満了に伴い、任命に同意しました。

浅野美喜子 氏

(58歳・鯉ヶ地)

人権擁護委員

任期満了に伴い、再任を適任であると決定しました。

花井 功 氏

(64歳・稲吉)

福田正美 氏

(67歳・境町)